

# 事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	06009-2	有害鳥獣対策事業(駆除)	室名	森林林業室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	03:農林業の振興	務	款 農林水産業費
実施体系	施策の方向	02:農業経営の安定化	科	項 農林水産業費
	戦略プロジェクト		目	目 農業振興費

② 目的・概要	対象	市民、猟友会
	目的・概要	有害鳥獣や特定外来生物による農林作物の被害が増加傾向にあり、近年では中山間地域のみならず平野部にまで被害が増加している。このままでは、農林業者の生産意欲が低下し、耕作放棄地や未植栽地の増加に繋がることから被害軽減に努める。 有害鳥獣による農林作物の被害を軽減するため、猟友会に捕獲を委託するとともに、捕獲活動を支援する。また、特定外来生物については、市民に捕獲檻を貸し出し被害軽減に寄与する。

			27年度	28年度
①	名称	有害鳥獣捕獲頭数	計画値	
	補足	有害鳥獣捕獲業務委託等によるサル、シカ、イノシシの捕獲頭数	実績値	348
②	名称	特定外来生物捕獲頭数	計画値	
	補足	アライグマ・ヌートリアの捕獲頭数	実績値	25
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績				○ 県猟友会亀山支部との有害鳥獣捕獲業務委託契約の締結 ○ 有害鳥獣特別捕獲報償費の支払い 捕獲頭数: サル99頭、シカ150頭、イノシシ99頭 ○ 特定外来生物(アライグマ・ヌートリア)の捕獲檻の貸し出し 申請件数: 46件、 捕獲頭数: アライグマ25頭、ヌートリア0頭 ○ 地域での獣害対策勉強会開催(出前講座): 3回 ○ 固定式大型捕獲檻修繕: 1基			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	1,465
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	1,465	平均給与額×③
	県支出金		3,520	2,424	所要人員 ③	0.20	
	地方債				臨時職員人件費 ④	0	
	その他				受益者負担額 ⑤	0	
	一般財源		4,040	3,798	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額					
		総人件費		①	1,465		
	総コスト		⑥	7,687			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	猟友会に有害鳥獣捕獲業務を委託し、サル99頭、シカ150頭、イノシシ99頭捕獲した。また、特定外来生物(アライグマ・ヌートリア)については市民に捕獲檻を貸し出しアライグマ25頭を捕獲した。	総合判定
			<b>B</b> まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	猟友会に有害鳥獣(サル、シカ、イノシシ等)の捕獲を委託し、年々捕獲頭数は増加しているが、農作物の被害は減少していない。また、特定外来生物(アライグマ・ヌートリア)についても、市民に捕獲檻を貸し出し捕獲頭数は増加しているが、農作物の被害だけでなく生活環境まで被害が及んでいる。
	【改善の方向性】	有害鳥獣(サル、シカ、イノシシ等)による農林作物の被害軽減を図るには、追い払いや防護柵の設置と捕獲が重要な対策であることから、引き続き猟友会に捕獲を委託する。また、特定外来生物(アライグマ・ヌートリア)についても、引き続き捕獲檻を貸し出し被害軽減に努める。今後は、「亀山市鳥獣被害防止計画」において、総合的な対策をより一層進める必要がある。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 森林林業室長 村田 博
--------------	---------	----------------------